

2年間の学び

1年次

1 Semester

2 Semester

基礎知識の修得

現場を体験し実習・演習で学びを深める

魅力ぎっしり、ライフケア専攻の学び

介護福祉士の資格取得のみならず、介護の本質を理解し、総合的に支援が必要な方の生活の質の向上をめざし、4つの専門領域から実践力・社会人を育てていきます。

その人らしい生活を支援する専門職としての基本を学びます。

日常生活援助技術I

大切な人が病気や障がいによって「トイレにいけない」「着替えができない」ような状態になったらどうしますか？その人らしい生活を支援するため、潜在能力を引き出し、安全に介護できる知識や技術を学びます。

対人援助サービスの基本的知識を学びます。

社会福祉援助技術総論

介護福祉実践に必要な人間の理解や対人援助の専門性について学びます。

介護に必要なコミュニケーションについて学びます。

コミュニケーション演習II

「見えにくい」「聞こえにくい」という、特に「視覚・聴覚」に不自由を抱えた人へのコミュニケーション方法のひとつである「点字・手話」も学びます。



「日常生活援助技術」入浴実習室での着脱介護の練習



「意見交換及び交流会」2年生が実習先での体験を1年生に伝え、情報を共有する

四天王寺福祉事業団

四天王寺大学と同じく、聖徳太子が設立した四天王寺四箇院を起源とする四天王寺福祉事業団は、高齢障がい者(児)福祉施設や保育・母子・女性福祉施設などを運営。早期から学生の实習先や就職先として強力バックアップ。

2年次

3 Semester

4 Semester

最終成果

認知症のことをもっと知り、理解することから始めよう。

認知症の介護と支援

認知症は単なるもの忘れや、特別な人だけがかかる病気ではありません。認知症を理解した上で、その人とのより良い関係を築く実践的な学びを深めていきます。

介護を必要とする方の個人の尊厳と自立の意義に対する理解を深める。

医療的ケア

介護を実践する上で必要となる医療的ケアの意義を理解し、安全かつ適切に実践できるように知識・技術を修得します。



「医療的ケア/経管栄養」チューブやカテーテルなどを使用し、胃や腸に必要な栄養を直接注入

栄養のある美味しい料理で身体の不自由な方を喜ばせたい。

食生活援助

介護現場では調理も大事な仕事のひとつ。栄養・献立などについて講義を受けた後、グループで話し合い、利用者の嗜好や身体状況に合わせた調理を実践します。



「日常生活援助技術」介護ロボット(マッスルスーツ)を着用しての移乗介助



「食生活援助」美味しく、安全に「食べること」を支援するための調理実習

私の2年間の歩み



田原 馨さん
短期大学部 生活ナビゲーション学科
ライフケア専攻 2年生
大阪府立藤井寺高等学校 出身

1年次
[夏学期]

介護とはどのような仕事なのかを基本的な身体介助法などを通して学びます。

介護を学ぶスタートとして、先輩(2年生)との親睦・卒業生との交流、バリアフリー展で最新の介護機器を見学する「ライフケア演習I」の授業があります。また「日常生活援助技術I」では、介護実習室の充実した設備の中で介護に必要な基本技術を学びました。

1年次
[冬学期]

実際の施設での生活を理解し、利用者とのコミュニケーション能力を磨きました。

初めての学外実習に参加します。そのために「介護実習指導II」で、実習に必要な記録方法等をしっかりと準備して臨みます。「コミュニケーション演習II」では、手話・点字について学び、聴覚・視覚障がいのある方とのコミュニケーション方法を修得しました。

2年次
[夏学期]

対象者の状態を理解した上で、どのような介護(支援)が必要かを判断する能力を身につけます。

「認知症の介護と支援」、「障害者の日常生活」というように、専門的な知識を必要とする対象の介護について学びを深め、3回目の学外実習に取り組みます。今までの学外実習での経験を基に、利用者信頼関係を結ぶよう、言葉遣いなどに気をつけながら、コミュニケーションを円滑に行えるように心掛けた。

2年次
[冬学期]

個別介護計画の立案・実施とさらなる専門性を学びました。

介護実習レベルIIでの実習で学んだ事例を基に、専門書やインターネットで調べて「事例研究」としてまとめ、発表と報告書の作成に取り組みます。また、「医療的ケア」では喀痰吸引、経管栄養の方法について、学内実習で修得しました。

PICK UP カリキュラム 学内実習



福祉現場さながらの実習設備で利用者体験を行います。

介護を受ける相手の不安・不快を感じ、それを大切に活かした安全・安心・快適な介護を考え、実行できる力を身につけます。